

## 校長室から

第18号

## 本校の開校はいつなのか？ ～その1～

『校長室から』1～8号に掲載したとおり、本校の校歌の歴史を調べていく過程で、上興部小学校の開校五十周年記念行事が、本校より1年早く行われていたことがわかりました。上興部小学校開校50周年記念式典は1958（昭和33）年11月3日に行われています。西興部小学校開校50周年記念式典は1959（昭和34）年6月21日に行われています。

そうすると、本校の開校は上興部小学校開校の翌年ということになります。それでは、それぞれの記念誌から、開校年月日を拾っていきましょう。

## 開校記念協賛会（1958年）『上興部小学校五十周年上興部中学校十周年開校記念誌』

「小学校沿革の概要」

明四一、六三 教育所設置

明四二、一 上興部第二教育所と改称 校地二、九八八坪

「祝辞」 村長 藤野巳代吉

「明治四十一年六月三日興部所属教育所として公立の設置を実現せしめ、ここに兩校沿革史の記念すべき第一頁が飾られたのであります。翌四十二年一月上興部第二教育所と改称」

「祝辞」 西興部村教育長 田尾庸雄

「明治四十一年六月三日森林鬱蒼たるこの地に僅に三十三名の子供を集めての開校」

記念誌から、上興部小学校は、1908（明治41）年6月3日から数えて満50歳を1958（昭和33）年に祝っていることとなります。

## 開校記念協賛会（1959年）『西興部小学校五十周年西興部中学校十周年開校記念誌』

「小学校沿革の概要」

明四一、一、二五 上興部第一教育所設置す

明四二、二、一 上興部第一教育所開校式を行う

「開校ここに五十年」 西興部小学校長 小山菊雄

「さてこの西興部小学校の校舎は明治四十二年二月一日に今の六興橋附近の六線という所に上興部第一教育所という校名で開校されたのであります」

「式辞」 西興部小中学校開校記念協賛会長 義達巖

「明治四十二年二月、私共の母校が開拓者の方方の尊い努力に依って、六興橋河畔に開校されてから、今日まで一日として中断される事なく、星霜五十年を迎えまして、…」（なぜか二が活字ではなく、手書き文字になっています。）

「懐古」 酒井常次郎（八六才）

「学校が建ったのは明治四十一年に公立第一教育所（上興部が第二）として今の六興橋の土手（現村上氏耕作地）でガンビ林の中を切り開いて、丸太で堀っ建て、床は割板を並べ壁は三尺の長割桎、机と椅子だけは木ひきにたのみました。」

記念誌から、西興部小学校は1908（明治41）年1月25日に設置され、1909（明治42）年2月1日に開校したこととなります。つまりは1909（明治42）年2月1日を誕生日として、1959（昭和34）年に満50歳を祝ったこととなります

ここままで、2つの疑問が湧いてきます。1つ目は第二教育所が第一教育所より先に開校していることです。2つ目は第一教育所が設置から開校まで1年以上を要していることです。

さて、注目したいのは記念誌の「五十周年に寄せて」北見市美芳町 政井三郎 です

